

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	F 全
使用教科書		森林科学 実教出版		使用副教材等		なし			

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	森林を構成する個々の要素について正しく理解し、森林の概念を身に付けている。生態系と多面的機能、森林の生態系と植生帯の分布、森林の遷移について自分の言葉でまとめ、他者に伝える技能を身に付ける。	現代の森林が抱える問題を理解したうえで、解決策を考え出すことができる。森林の生態系と環境問題を関連づけ、持続可能な開発目標の観点で考えることができる。	森林の役割や生態について関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付けている。
評価方法	・定期試験 ・小テスト ・グループワーク	・定期試験 ・ワークシート ・グループワーク	・授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ワークシートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	・グループワークを取り入れた授業を行うので積極的に参加すること。
-------------	----------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4～7	第5章 木材の生産 ○木材の伐採 ・林木の伐採について理解する。 ○造材と集材 ・造材について理解する ・集材について理解する ○木材の運搬 ・トラックの運材について理解する ・貯木について理解する	・木材の伐採について興味を持ち、森林管理について理解することができる。(知) ・森林の更新について意欲的に考え、自分の言葉で他者に伝えることができる。(思) ・造材方法を理解し、それぞれのメリット・デメリットについて考えることができる。(態)(思) ・集材について興味を持ち森林管理の中でも重要な役割を担っていることについて理解することができる。(知) ・木材の運搬、貯木について理解することができる。(知)
2	9～12	第6章 人間社会と森林 ○森林利用の変遷 ・森林利用の変遷を理解する ○流域社会と人の暮らし ・流域社会と人の暮らしについて理解する	・森林利用の変遷について興味を持ち、森林の人の関わり的重要性について理解することができる。(知) ・水源地の森林管理について考えることができる。(思)(態) ・河川生態系の問題を考えることができる。(思)(態) ・湿地生態系について理解することができる。(知)
3	1～3	・振り返り	・これまで、森林科学で学んだことについて、自分の言葉で他者に伝えることができる。(知)(思)(態)